

まこと

発行: ののうち誠後援会
〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
電話・FAX 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp

ブログで日々の活動を紹介しています。フェイスブックもやっています。
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

後援会だより——April

発行日:2018年4月25日

のののうち
まこと VOL 27

松江市は4月1日に中核市に移行しました。保健所設置の行政負荷も加わりますが、県からの権限委譲は自立する自治体の糧となり、市民サービスの充実につながっていくものと信じています。

そして本年は、松平不昧公没後200年を記念した「不昧公200年祭」が市内を中心に展開され、観光客の呼び込みの核と位置づけられています。また、松江城山稲荷神社式年神幸祭(通称:ホーランエンヤ)を1年後に控え、準備の年でもあります。政府は国際観光を21世紀の重要産業と位置付け、呼応したインバウンド誘致も国際文化観光都市・松江市として重要な施策です。

一方、地に足のついた地方創生のための産業振興や定住環境、福祉環境などの課題があり、新都市計画マスタープランの具体的展開によって、「定住と交流による活力あるまちづくり」に進んでいかなければなりません。その延長にある中核市としての風格・品格づくりが課題です。



4月2日の中核市「松江」誕生式でのくす玉割り

中核市・松江市の躍進をめざして



平成30年度予算案などを議決 2月松江市議会

2月定例松江市議会は、2月21日から3月22日までの30日間の会期で開会されました。今議会は、本年4月の中核市移行のための部の再編の議案や、ごみ料金

改定の条例案件など市長提案の151議案と議員提出議案2件を可決しました。このうち、平成30年度一般会計予算は962億3,800万円。中核市移行に伴う経費約12億円の加算などにより、総額の前年度対比で31億7,100万円増の予算となりました。

補正予算では、一般会計が9億9,103万円余で、国の補正予算に呼応する松江オープンソーラボ整備事業や保育所整備・学校施設整備などに取り組む予算となっています。(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

最近の活動から

子どもとメディアについて学びました

1月末に福岡市で開催された「子どもとメディア全国フォーラム」に参加し、スマホ社会と子どもの育ちに関して学習する機会を得ました。

全国からの小児科医師や大学教授など専門家から問題や課題を聞き、生活に欠かせないものとなったスマホとの関わりに大人の役割は大きいと認識を新たにしました。ある先生の言葉、「昔に帰ろう」が心に響きました。



子どもとメディア全国フォーラム

ホーランエンヤの準備開始

3月12日、日本3大船神事のホーランエンヤを来年に控え、「松江城山稲荷神社式年神幸祭奉賛会」と「伝統・ホーランエンヤ協賛会」の合同設立総会が松江市内のホテルで開催されました。松江市と東出雲町が合併後初のお祭りです。準備に万全を尽くすよう誓っての始動です。



3月12日の協賛会・奉賛会合同設立総会

意宇川水位設定の説明会

2月13日、「意宇川の水位設定に関する説明会」が出雲郷公民館で開催され、出雲郷地区と竹矢町の町内会の代表者などが出席しました。

平成29年11月議会の一般質問をしたことから開催されたもの。平成30年度に八雲町神納橋水位観測所の設定水位が変更になること、出雲郷水位観測所の設定水位などの説明がありました。災害・防災対策は行政と市民が情報を共有することが大切です。



説明会場の出雲郷公民館

松政クラブのホームページを一新しました

2月末に、「松江市議会 松政クラブ」のホームページを一新しました。市議会会派で唯一のホームページですが、16名の会派の仲間の紹介や会派活動などをアップしています。野々内が担当して編集しました。どうぞご覧ください。



松政クラブホームページのトップページ

<http://syousei-club.jp/>

後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきましょう。この度後援会だよりvol.27を発行いたしましたので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在67歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選 平成29年4月3期目当選

ホームページ、
ブログはこちらから



◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670
TEL・FAX / 0852-52-3117
Eメール nonouchi@mable.ne.jp
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>

一般質問

野々内は、2月定例市議会では連続26回目となる一般質問を行ないました。今議会は、松江藩第7代藩主・松平不昧公の没後200年の記念事業に呼応する和服の着用が呼びかけられ、野々内も紋付はかまど質問に臨みました。（一般質問とその回答の全文はホームページのブログで紹介しています）

○学校図書館活用教育について

①学校図書館活用教育の今後の展開について伺う。

学校図書館活用教育は、学校司書、司書教諭、担任教諭の連携のほか、学校全体での取り組みから成果を表すものです。今後の展開について伺います。

古藤副教育長 この教育は今後の教育に欠かせない重要なキーワードであり、学校図書館支援センター

深調査を2度行い、3月、5月にも調査し、浚渫の必要性を判断します。また、陸船行列の支障については、今後の現地調査などから行列を行う五大地関係者と協議を考えています。

③ホーランエンヤに関わる市の今後の見通しについて伺う。

このお祭りは、370年続く伝統文化行事で観光資源です。一方、祭りを支える人の減少と確保は今後の課題で、市の今後の見通しを含めてお考えを伺います。

錦織観光振興部長 関係者と今後の課題解決への継続的な検討を考えています。また、今回は、東出雲町と合併後初のお祭りであり、市協賛会で支援をしていく体制を整え、一体となって準備、実施を行います。

○河川の浚渫について

①河川の浚渫の促進について伺う。

県管理河川浚渫は県に要望するだけでなく、2分の1補助の「河



は、学び方指導体系表という小中の9年間を見通した基本カリキュラムで、全ての教科で普及を図っていきます。



本を読む子は育ちます

②学校司書の待遇等について伺う。

嘱託職員と臨時職員では勤務時間が違うため準備の差ができ、各校での取り組みに格差が出ていると感じます。学校司書は嘱託職員以上の待遇にすることが子どもの成長に寄与すると思いますが、お考えを伺います。

川浄化対策事業」を市が実施していく方法もあります。平成30年度予算案も含めてお考えを伺います。

安達都市整備部長 河川浄化対策事業の予算案では2,263万円の事業費を計上しています。中小河川の掘削等は、県に対して国の交付金財源を活用して対策をしていくよう引き続き要望します。また、国に対しても、市長会等を通じて、更なる制度拡充の要望を考えています。



浚渫が待たれる河川(意東川)

○地産地消推進行動計画と生産者の育成について

①松江市地産地消推進行動計画の取り組みについて伺う。

市では「地産地消推進行動計画」を5力年実施計画として策定。この計画によると、市の農産物は44億円(供給率7.5%)であるのを、5年間に4億円増額するとしてい

古藤副教育長 嘱託職員は順次増員し、現在49名の学校司書のうち25名が嘱託職員です。教育委員会では、今後も学校司書の嘱託化が進むよう予算要求したいと考えています。

③学校における図書の購入費について伺う。

近年の学校図書予算の推移と平成30年度の予算額を伺います。また、物流ネットワークシステムに関する予算の考えを伺います。

古藤副教育長 学校図書購入費は、平成28年度、29年度はそれぞれ対前年比で20%から30%増。平成30年度は、今年度と比較して、小学校では約16%増の826万1千円、中学校でも10%増の668万6千円の予算要求を行っています。

物流システム予算は、今年度は100万円。前年度比で約15万円の減額ですが、前年度の実績に基づいたものです。物流システムの有効活用を研修会等で周知を図っています。

○ホーランエンヤの準備状況について

ますが、具体的な実行見込みの取り組みを伺います。

矢野産業経済部長 4億円増額の目標へ5つの主要な取り組みを推進していきます。この取り組みを本市が生産者や流通食品関係事業者、県、JA等とつなぎ、一体となって推進します。



東出雲町・アイバルテの地産地消コーナー

②本計画を推進し支える生産者の育成と支援について伺う。

本計画を推進し支える生産者の育成と支援について、取り組む考えを伺います。

松浦市長 今までの農業振興の反省をふまえ、契約栽培の拡大、販路確保が一番大事で安定的な経営につなげたいと考えています。

若手農業者の意見からの、売れる作物や販路拡大の情報の施策を重点的にやっていきたいと思っています。

③現状の水利施設を改善する支援事業について伺う。

①現在における準備の状況について伺う。

日本三大船神事のこのお祭りは平成31年5月開催が決定。準備に万全を尽くす必要がありますが、現在における準備の状況について伺います。

錦織観光振興部長 昨年12月の開催日決定以降準備を重ね、3月には事業の推進母体の協賛会と奉賛会を前回と同様設立し、来年の本番に向け本格的にスタートする予定です。



平成21年5月のホーランエンヤ中日祭

②中日祭の陸船行列に支障となる道路横断架線の迂回と、航路となる意宇川の浚渫について伺う。

平成28年の2月議会の一般質問した2点について、その後の準備状況を伺います。

錦織観光振興部長 意宇川の

生産者は、用水の取水施設の老朽化という喫緊の課題を持っています。集積化の一方で、現状の水利施設を改善するといった支援事業に取り組み考えはないか伺います。

矢野産業経済部長 集積を進め地元負担の少ない事業を導入し、効率的な農業経営に転換することが最善と考えています。今後、小規模施設においても採択可能になるよう、受益面積の緩和を国へ要望したいと考えています。

6月定例議会予定

6月13日(水) 本会議

(会期の決定、提案説明)

18日(月)19日(火) 一般質問

20日(水) 一般質問・議案質疑・委員会付託

21日(木) 総務委員会・予算委員会総務分科会

22日(金) 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会

25日(月) 経済委員会・予算委員会経済分科会

建設環境委員会現地視察

26日(火) 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会

29日(金) 予算委員会

(分科会長報告質疑討論採決)

7月3日(水) 本会議 委員長報告 質疑・討論採決、閉会